

# 第102回病診連携委員会要録

日時 令和4年11月28日（月）午後8時

配信方法 MicrosoftTeams

出席者 別紙

議題

今回、中央区東医師会会長の村野実之先生が参加された。

## 1. 第101回病診連携委員会報告について

新型コロナウイルス感染症はオミクロン株による第7波の影響により各病院ともコロナ病床は病床拡大で対応しているが、病院によっては、クラスター発生により入院制限をしている病院もあった。また、コロナ感染患者の搬送は、基本フォローアップセンターからのものが多いが、かかりつけ患者が感染した場合も、病床数にカウントされないなど問題点も指摘された。また、病診連携において、医師同士の連携をとりやすくするシステムの方向性が大阪医療センターの松村院長から示された。

## 2. 年末年始のコロナ患者対策および現状でのコロナ病床報告について

愛染橋病院：現在2床（13床まで対応可能）

大阪医療センター：重症3床：中等度13床

大阪警察病院：4床（23床まで可能）

第二大阪警察病院：12床（28床まで可能）

大野記念病院：4床（19床まで可能）

富永病院：31床

山本第三病院：12床

四天王寺病院：2床（陽性隔離対象20名）

育和会記念病院：18床（13名入院）

年末年始の体制は、フォローアップセンターからの受け入れやかかりつけ患者の受け入れは応じてくれる病院が多かった。

また有田会長からは、発熱外来で徐々に陽性患者、中でも発熱のない陽性患者が増加傾向にある。また塩野義製薬「ザコーバ」が治療薬として早期承認されたが、使用時の条件が多く、不安材料も多いとする指摘もあった。

## 3. 各医療機関の災害対策や訓練等（所属医師会との連携含む）について

災害対策のBCP（事業継続計画）においては、2021年5月に内閣府のガイドラインが改定されているが、各病院とも策定が済んでおり、訓練等もなされているところが多かった。ただ、医師会との連携は今後の課題である。

## 4. 国立大阪医療センターとの今後の連携について

大阪医療センターの松村院長より、病院内の電子カルテと仮想webを使い、ダイレクトにDr to Drで連携が取れるモデルの説明があった。ただ、本部の患者情報の許可の敷居が高く、現在は新たな通信手段を検討中であるとのこと。

また、中央区東医師会と実証実験する予定とのことであった。

## 5. 各病院でのサイバーテロ対策について

各病院とも、電子カルテとダイレクトにインターネット接続はなく、また適時バックアップを取っているところが多かった。また、USB/CDはチェック後、限られた端末でしか利用させない病院が多かった。大阪急性期・総合医療センターのランサムウェアは、VPN回線の脆弱性をついたものであり、関連会社のリモートアクセスなどからの侵入にも注意を要すると松村院長の解説があった。

6. ブルーカード登録数について

本日現在の登録件数	浪速区 517 件	他地区 54 件
本日現在の使用状況数（延べ）	浪速区 802 件	他地区 59 件

令和4年8月30日から本日までのカード動向			合計 13 件	
新規 6 件	更新 3 件	入院 0 件	他入院 0 件	帰宅 0 件
中止 0 件	死亡 2 件	退院 0 件	連携入院 0 件	受入不可 1 件
通院無 0 件	かかりつけ医変更 1 件		登病変 0 件	転院 0 件

7. その他

なし。

令和4年度 会議開催予定 5月30日・8月29日・11月28日・令和5年2月27日  
 すべて月曜日・開催場所は医師会（午後7時45分～）かWEB（午後8時～）のいずれかになります